



令和6年3月25日

子どもの生活実態調査（高校生世代）の結果（速報版）について

世田谷区は、令和7年度から令和16年度までを計画期間とする「子ども計画（第3期）」に内包する次期子どもの貧困対策計画の策定に向け、前回平成30年度に調査対象でなかった高校生世代の子どもの実態を把握し、重点的に取り組むべき施策を講じていくために、高校生世代の子どもと保護者に対するアンケート調査を実施しました。

1 調査概要

(1) 主な調査項目

子ども：子ども自身の状況、友人関係、学校・勉強、普段の生活、食事・健康、アルバイトなどの仕事、普段考えていること、公的支援の利用状況 等
保護者：保護者自身と世帯の状況、父母の職業、新型コロナウイルス感染症による家庭への影響、親子の健康、子どもの進路、子育てにかかる費用、家庭での生活、父母の成育歴、公的支援の利用状況 等

(2) 調査対象

令和5年度高校2年生世代のすべての子ども本人とその保護者
(子どもは平成18年4月2日から平成19年4月1日までの間に生まれた者で、令和5年8月8日時点で世田谷区に住民登録のある者。)

(3) 調査対象数

6,875世帯

(4) 抽出方法

住民基本台帳により、対象年齢層の者すべてを抽出

(5) 調査方法

各世帯に子ども用・保護者用の依頼文およびアンケートを郵送配布し、子ども・保護者それぞれ自記式にて任意回答の上、インターネットもしくは郵送で回収

(6) 調査期間

令和5年9月1日～令和5年10月2日

(7) 有効回答数・回答率

子どもと保護者でマッチングできた件数 1,482件 (21.6%)

2 調査結果から見えた主な状況

- ・15.4%の高校2年生世代の子どもが経済的な理由による生活困難を抱えており、食や学習、体験、人間関係、健康面等での影響を受けている。
- ・生活困難層の保護者は、保護者自身が子ども期に暴力を受けたり、育児放棄をされた経験がある等、困難を抱えている。

◎問合せ先 子ども家庭課

電話03-5432-2406